

太田フィルハーモニー交響楽団
第15回 定期演奏会

ota
philharmonic
orchestra

2012年11月25日（日）
開演14：00
笠懸野文化ホール・パル

【ご挨拶】

本日は、太田フィルハーモニー交響楽団の第15回定期演奏会にお越しいただき大変ありがとうございます。

今年の春に大泉町の文化むらで開催したファミリーコンサートには、たくさんの皆様にご来場いただきましてありがとうございました。しかし、はじめは座れないお客様もいらして、ご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。

さて、今回の演奏会も、指揮者に新井久雄先生をお迎えしました。

太田フィルは、いつも金曜日の夜に合奏練習をしているのですが、本番も近くなった先日の練習曲は、今日の交響曲“悲愴”の第3楽章でした。第3楽章は、速いテンポのスケルツォで始まりますが、最初、先生の指揮棒が早いテンポを刻み出しても、オーケストラはまるで初めて楽譜を見たときのように、ぎこちなく、まったく合わず、とてもこの世のものとも思えない悲惨な合奏になりました。数十小節進んだところで、また初めからやり直しても、同様に、まるで訓練されていない小学生の演奏のような状態でした。ところが、1時間も経ち、3楽章の練習を終えるころには、ピタッとみんなが合って、楽器もガンガン鳴って、まるでCDで聞くような凄い迫力のある、気迫に満ちた（自画自賛ですみません）演奏になっていました。

そうなんです。オーケストラも“暖機運転”が必要なんです。皆さんも朝起きたばかりの時は、なんとなくもうろうとうとして、頭も体もついてこないのではないのでしょうか。ラジオ体操をやって、顔を洗って、ご飯を食べて、会社や学校に着くころには全開になっているのではないのでしょうか（そうでないときもあります）。車のエンジンも走り始めたときは、なんとなくギクシャクしてスムーズに走らないでしょう。オーケストラも同じなんです。

夜の練習なのに、練習の初めは、頭がついていかない、体がついてこない、集中力が出ない。ということで、何回やっても駄目だったのです。おそらく、キチンとしたオーケストラの方々は合奏前の準備がしっかりしているので、そんなことはないと思います。

そんな風にして、身体と心（気構え）の下準備ができ、そして指揮者とメンバーの集中力がピタッと合ってくると、太田フィルも実力を発揮できます。

でも、今日は大丈夫です。準備体操は午前中のリハーサルで十分できています。これからの本番では、観客のみならず、一体となって集中力を発揮できればよいと思っています。

さて、そろそろ演奏者も舞台袖でワクワク、ドキドキしている頃です。どんな演奏になることやら……。どうぞ、今日もお楽しみいただければ幸いです。

太田フィルハーモニー交響楽団
団長 大竹 実

【プロフィール】

1982年、国立音楽大学作曲学科に入学。和声、対位法、作曲法を学ぶと同時に、学外にて指揮法を山田一雄に師事。在学中より創作オペラ等の指揮を始め、卒業後も指揮活動を中心に、各地オーケストラ、合唱等を指揮。

1988年藤沢市民オペラ「椿姫」公演に於いて、福永陽一郎の助手として副指揮を務める。その後渡欧。ヨーロッパ各地での「国際指揮マスターコース」に積極的に参加。

指揮者として深く研鑽を積む。その中でも特に、イタリア・シエナの「キジアーナ音楽院」に於いては、オーディションを経て実技受講生として選ばれ参加。

そこではヴァレリー・ゲルギエフをはじめ、ユーリ・テミルカーノフ、イリヤ・ムーシン、ミュン・フン・チュンの各氏に師事。短期間ながらそれぞれ直接指導を受け、多大な影響を受ける。

その他にもゲオルク・ティントナー、カール・エステライヒャー、ユリウス・カルマー等の各氏にも師事。

1991、92年、「ディヌ・ニクレスク国際指揮者コンクール」及び1996年「プロコフィエフ国際指揮者コンクール」に於いて上位入賞。

成績優秀者として奨学金やディプロマを授与される。

今までにウィーン・レジデンツオーケストラをはじめ、ウィーン・プロアルテオーケストラ、ソフィア交響楽団、他にロシア、チェコ、ハンガリー、ルーマニアのヨーロッパ各地のオーケストラを、又国内では、上野浅草フィルハーモニー管弦楽団、松戸シティフィルハーモニー管弦楽団、麻生フィルハーモニー管弦楽団、新潟室内合奏団、鳥取市交響楽団、八戸市民フィルハーモニー交響楽団、京都シンフォニカ等を指揮。

他に東京佼成ウィンドオーケストラ、藤沢ウィンドオーケストラにも出演。

又、愛知県立芸大の非常勤講師を4年間努め、その大学院オペラ公演で「フィガロの結婚」等、モーツァルトの主要オペラ作品を指揮。

現在はオーケストラを中心に、オペラ、吹奏楽、声楽アンサンブル等、ジャンルにとられない幅広い指揮活動を展開。

指揮 新井 久雄



ジョアッキーノ・ロッシーニ／歌劇《どろぼうかささぎ》序曲

レオ・ドリーブ／バレエ組曲《コッペリア》

- 1 前奏曲とマズルカ
- 2 ワルツ
- 3 情景と人形のワルツ
- 4 チャルダッシュ

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
交響曲第6番短調《悲愴》Op.74

- 第1楽章 Adagio-Allegro non troppo-etc.
- 第2楽章 Allegro con grazia
- 第3楽章 Allegro molto vivace
- 第4楽章 Adagio lamentoso

【曲目紹介】

ジョアッキーノ・ロッシーニ (1792-1868) 歌劇《どろぼうかささぎ》序曲

晩年のベートーヴェンは死後に1億円相当の遺産があった程の大人気作曲家であったが、同時期に頭角を現したロッシーニはそんなベートーヴェンの人気を脅かす存在であったと伝えられている。しかし仕事はいい加減で同じ旋律を使い回すのは日常茶飯事、場合によっては曲自体をも使い回し、さらに人生半ばにして作曲を放棄し料理に没頭するという我々が安直に想像する“不真面目なイタリア人”の典型とも思える人生を送った。いや、料理に対しては極めて真面目だったのかも知れない。その結果トウルヌド・ロッシーニと呼ばれる、牛フィレ肉にフォアグラを乗せて更にトリュフとデミグラスソースをかけるという値段もカロリーも高そうな料理でも名を残しているが、音楽の方面ではその殆どが忘れ去られ、現在でも演奏されるのはウィリアム・テルとセビリアの理髪師、そして無職の男が平日の昼間にスパゲッティを茹でるのいうってつけな音楽と一部で評されるこの序曲くらいになってしまった。但しロッシーニが仕事を捨てて料理の研究に没頭出来たのは若い頃に書いたオペラが売れまくって一生暮らすのに全く不自由しない程の大金を稼げたからであり、その生き様から当時どれほど人気の作曲家であったかも想像に易い。

レオ・ドリーブ (1836-1891) バレエ組曲《コッペリア》

オケをやっていると度々耳にする名前、それがドリーブとコッペリア。それで実際に曲を聴くと、これまた何処かで聴いたことがある旋律。この作曲家とその音楽は知名度という点で幾分損をしている様に思えなくもない。同年代のフランス人作曲家にはビゼーがいるが、ビゼーと違ってドリーブは生前から評価されていたのに現在では知名度が逆転してしまっているのは（少なくとも日本では）皮肉な話である。これにはビゼーの死後にカルメンが爆発的な人気を博した事が、またドリーブのオーケストレーションが地味だった事も影響しているだろう。ドリーブの音楽は流麗、繊細等と評されているが、裏を返せば印象に残り難いのである。19世紀の中頃、フランス発祥ながらも衰退の一途を辿っていたバレエを復興するべく投入されたのがこのコッペリアだった。結果として初演再演共に大成功だったが、フランスバレエにとっては締めめの10尺玉となってしまった様である。ところが最後に打ち上がった大花火はただ燃え尽きるのではなく、遠いロシアに火種を残した。この音楽に感化されたのがチャイコフスキーで、そのバレエ音楽にはドリーブの影響があると指摘されている。そこで両者を聴き比べてみると、チャイコは相変わらず耳に残る旋律が多くオケも華やかなのに対してドリーブはやはり少し旋律に派手さが足りないというか・・・印象に残り難い。結局、その地味さが知名度を上げられない原因なのかも知れない。

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー (1840-1893) 交響曲第6番短調《悲愴》Op.74

10月某日、筆者はNHKの某クラシック音楽番組を観ながらこの原稿を書いているのだが、インタビューに答える演奏家達は口を揃えて「音楽は世界の共通言語」「言葉で表せない物が音楽では表現出来る」と決まり文句を喋っている。テレビの事だから、喋る内容に注文を付けているに違いない。それはそれで間違いではないのだろうけど、何だか綺麗事ばかりでイマイチ面白くない。確かに芸術は美を追求する事が前提だが、ロマン派の時代にもなるとそれまででは際どかった内容も扱われる様になり表現が多様化して、聴き手が幸福になるものばかりでは無くなった。個人的にはマーラーの9番と大地の歌がその方面での最高峰だと思うが、この《悲愴》も幸福にならない代表格である。露骨に暗く始まり暗く終わるこの交響曲はその半分が絶望で出来ていると思える程暗く悲しい曲で、第3楽章を圧倒的な勢いで華やかに締め、大団円に見せかけて最後に慟哭を持ってくるといふ、お涙頂戴物を地で行く展開はこれまた露骨な気もするが、そこはやはり言葉と違って抽象的な表現だからであろうか、嫌味もなく作曲者の心情が伝わる様に感じられる。また、この曲の初演から9日後に作曲者が急死し、曲中にロシア聖教のレクイエムが引用されている事や死を印象付ける下降音形からこの曲はチャイコフスキーの遺書なのではないかと噂された事を知ると尚更感情移入してしまう場合もある。残された手紙等を含めると確かにチャイコフスキーという人は鬱気味な気分を持ち主で、異性愛への挑戦であった結婚生活が破綻した時には冬の川にわざと落ちて風邪を悪化させる事で命を落とそうという“消極的な自殺”も試みているが、この行為からも分かる様に明らかな自殺願望がある訳ではなかった。それで、本当に絶望に打ち拉げられながらこの交響曲を書いたのかといえば、それはどうやら事実と異なる。人間生きていれば死を意識するのは当然で、表現者であれば尚更それを仕事の中に意識するだろう。また、もし心が死に支配されていたとしたら、本当に半分が優しさで出来ていそうな《胡桃割り人形》を同時期に書けるとは思えない。故に、この交響曲は感情に任せて書かれてものではなく、綿密に計算された音楽なのである。では初演直後の急死は偶然なのかというと、そうではなかったのかも知れない。死因はコレラが通説となっており、その感染源は生水であったと言われている。チャイコフスキーがレストランや自宅で生水を飲んでたという目撃談があり、コレラ説に信憑性を与えている。当時生水を飲む事は自殺行為で、これはもしかしたら以前にもあった“消極的な自殺”だったのではないかと密かに思う。

第15回定期演奏会 出演者

1stヴァイオリン

朝倉 郁子
大野 仁子
狩野 幸子
◎工藤 美保
黒沢 良夫
櫻井 由佳
佐藤 英臣
菅原 陽子
五位野 高史 (賛助)
森川 雅孝 (賛助)
山上 純子 (賛助)

2ndヴァイオリン

池田 直美
♪加藤 紗智子
小島 昭二
多賀 春美
津久井 尚美
福永 司
松永 錦弥 (賛助)
長谷川 恵美 (賛助)
長谷川 拓紀 (賛助)

ヴィオラ

饗庭 裕子
饗庭 由貴
内田 幸延
佐藤 雅美
♪田代 克
横塚 清恵
川島 とも子 (賛助)
中嶋 英彦 (賛助)
吉野 玲子 (賛助)

チェロ

古作 眞佐子
♪齋藤 進午
田代 ひとみ
松浦 静子
山口 美枝
山崎 美奈子
田島 啓視 (賛助)
丸橋 有紀 (賛助)

コントラバス

♪向後 淳史
梅澤 見晴 (賛助)
大館 妙子 (賛助)
岡崎 正和 (賛助)
小林 正幸 (賛助)
柴林 一郎 (賛助)

フルート

上村 知道
小池 淳子
♪白石 真奈美

オーボエ

関口 史子
♪福島 彩

クラリネット

大塩 孝
桑原 淑江
♪高田 和久

ファゴット

齋木 和夫 (賛助)
関本 ささら (賛助)

ホルン

♪秋場 裕美子
片山 智広
古川 聖子
星野 由樹
細田 幸江
前原 陽子

トランペット

安藤 清輝
♪大竹 実
松本 博行
根岸 義行 (賛助)

トロンボーン

梅沢 慎二
♪木村 彰徳
鈴木 義幸 (賛助)

チューバ

須藤 渉 (賛助)

パーカッション

♪大川 智
武田 由美
飯塚 牧子 (賛助)
夏見 えみ (賛助)
山本 翔太 (賛助)

◎ コンサートミストレス
♪ パートリーダー

※過去の演奏会

年月日	演奏会	場所	指揮者	演奏曲目	作曲者
2010.8.8	第12回演奏会	新田文化会館 エアリスホール	風岡 優	交響曲第3番《英雄》 ピアノ協奏曲 歌劇《魔笛》序曲	ベートーヴェン グリーグ モーツァルト
2011.2.27	第13回演奏会	伊勢崎市 境総合文化センター	田部井 剛	交響曲第2番 アルルの女 第1・第2組曲	シベリウス ビゼー
2011.10.9	第14回定期演奏会	笠懸野文化ホール パル	新井 久雄	交響曲第2番 ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 ニルンベルクのマイスター・ジンガーより「第1幕への前奏曲」	ブラームス メンデルスゾーン ワーグナー
2012.4.22	2012 ファミリーコンサート	大泉町文化むら 大ホール	新井 久雄	オーケストラストーリーズ「となりのトトロ」 バレエ組曲「眠れる森の美女」 歌劇「アイダ」より大行進曲	久石 譲 チャイコフスキー ヴェルディ

次回演奏会のお知らせ

日時：2013年5月26日(日)
14時開演(予定)

場所：太田市新田文化会館
(エアリスホール)

曲目：劇付随音楽
「真夏の夜の夢」より抜粋
(メンデルスゾーン)

ポピュラーシリーズ
「ディズニーメドレー」他

団員(楽器経験者)大募集!!

太田フィルでは一緒に音楽を楽しむ仲間を募集しています。
現在募集中のパートは、以下の通りです。

**ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
ファゴット、トロンボーン、パーカッション**

練習日：毎週金曜日 午後7時～10時
練習場所：葦川、休泊行政センター等
申し込み：下記お問い合わせ先にご連絡下さい。
練習見学大歓迎です！
学生団費月額500円、演奏会費半額です。

♪練習の様子をブログで紹介しています。
下記のホームページから入れるので、のぞいてみてください♪

お問い合わせ先
電話：090-5819-1453 (梅沢)
URL：http://otaphil.symphonic-net.com/
E-mail：fwhv3343@nifty.com